

自然体験活動と SDGsを考える (自然体験付き)

數井 美智子

(フィールドネーム おかず)

長岡京市民大学
長岡京市立中央公民館主催
市民企画講座(1) 西村日出男企画



自己紹介

■ 公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会 認定
コーディネーター／リーダー
■ 環境カウンセラー
■ グローイングアップワイルド シニアエドゥケーター

數井 美智子(森田)
Kazui Michiko(Morita)



〒617-0828
京都府長岡京市馬場1丁目 1-13
TEL: 090-1673-2848
E-mail: okazuwau@yahoo.co.jp

フィールドネーム **おかず**

キャンプ生活で育ち、山から風から楽しさや嬉しさ、
すてきな仲間、生きる力をもらいました。
晴れでも雨でも楽しめる企画提案が得意です。
自然をもっと楽しみたいな、と思ったら
おかずにおまかせ♪

- エコキッズネット大阪・京都 代表
- 自然倶楽部アイ 代表
- 京都府地球温暖化防止活動推進員
- 京都府くらしの安心推進員

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



具体的行動の動機 (ビジネスマネジメント)

() ⇐ 動機の強さ (行動できる) ⇒ ()

1

強制

- ・ 罰がある
- ・ やりたくない
がやらされる

2

消極的動機

- ・ やらなければ
いけない
- ・ 必要だから
仕方なく

3

積極的動機

- ・ やったほうが
得をする
- ・ 必要だから
やろうかな

4

自発的動機

- ・ やりたいから
やる
- ・ やることが
あたりまえ

5

自己欲求

- ・ 楽しいから
やりたい
- ・ 自分の目的
だからやる
(できる環境を
自分で作る)

() ⇐ 持続の長さ ⇒ ()

ネイチャーゲーム（シェアリングネイチャー）とは？

＊ 1979年 アメリカのジョセフ＝コーネル氏が発表した
自然体験プログラム

＊ 自然に関する特別な知識がなくても、豊かな自然の
持つさまざまな表情を楽しめる自然体験活動で、自然の
不思議や仕組みを学び、自分が自然の一部であることに
気づくことができる活動

＊ 参加者の心の状態や学習テーマに合わせて、アクティ
ビティを組み合わせる手法。現在190ほどのアクティビ
ティが登録されている

＊ アクティビティを通して発見したことや感じたことをシェア
（わかちあう）ことに重点を置いている。



自然体験活動とSDGs

- **意識**を高める（必要であることに気づく）
- **行動**を起こす（自分のこととして捉える）
- 行動を**持続**する（その気持ちを持ち続ける）

⇒ 動機づけの背景となる原体験が自然体験活動

ネイチャーゲーム 実践（指導）のポイント

- * 体験が先、説明はあとで
- * 楽しさは学ぶ力
- * フローラーニングを考える
- * 教えるよりもわかちあう
- * 参加者の発見や感じたことを尊重する

人間の記憶・理解できる割合の研究

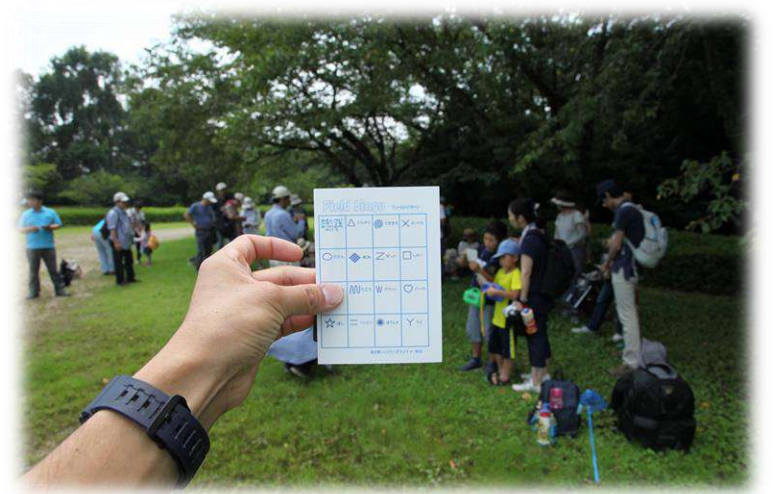
聞いたこと	10%
見たこと	15%
聞いて見た時	20%
話し合った時	40%
体験した時	80%
教えた（伝えた・シェア）	90%

* 自分の体験の濃さが
記憶や理解に繋がっている

* その物事に興味があれば
さらに%は上がる
逆に興味がなければ下がる

自然体験活動（例：フィールドビンゴ）で 何が起きているか

- * 「自分がどう感じるか」を意識する
- * 人が必ずしも同じ感じ方をしないことに気づく
- * 人により視点が違うことで自然の中の発見が「増える」
ことに気づく
- * グループによって正解（回答）が違う
- * 「無い」という答えもある。
➡ 「なぜなかったのか」が別の発見（正解）となる



ネイチャーゲーム（自然体験活動）の効能

＜自然体験の実践・参加効果＞

- ・自然への気づき
- ・様々な価値感（価値観の違い）を認められる
- ・自分自身の感覚を大切にできる（再確認できる）
- ・自分の意見を他者に伝えられる
- ・自然の良さ、大切さを体感として積み重ねる



➡子どもだけでなく大人にとっても大切な活動・体験

☆SDG s が必要だと感じる心（感受性）の育成、動機付けの
原体験、持続力の維持